

令和4年度（2022年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	東大阪商工会議所	
	代表者職・氏名	会頭 稲田 真一	
	所在地	〒577-0809 東大阪市永和2-1-1	
	担当者	職・氏名	中小企業相談所 所長 小谷 哲司
		連絡先	TEL（直通）： 06-6722-1151
Fax： 06-6725-3611			
		E-mail： kotani@hocci.or.jp	
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率）		昭和 12 年 12 月 28 日 34 名（経営指導員 24 名） （令和5年3月31日現在） 東大阪市 22,089 （平成 28 年度経済センサス） 17,402 （平成 28 年度経済センサス） 6,231 （令和5年3月31日現在） 25.4% ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること	
<input type="checkbox"/> 主な事業概要（定款記載事項等）			
①商工会議所としての意見の公表、国会、行政庁等に具申・建議、行政庁等の諮問への答申 ②商工業に関する相談・指導、情報収集・提供、調査研究、講習会又は講演会の開催、施設の設置・維持・適用 ③地域新産業創出事業の推進 ④ビジネスチャンスの拡大と販路開拓事業の推進 ⑤創業支援と産学官交流事業の促進 ⑥人材確保と雇用対策事業の推進強化 ⑦街づくり推進への支援 ⑧商工業者との情報交換の促進事業 ⑨商工業者の円滑な事業承継への支援			

<p>(1) 事業の目標</p>
<p>地域産業の活性化に向けた取り組みとして、大阪東部地域のモノづくり拠点として稼働しているMOBIO（クリエイション・コア東大阪北館）において経営指導員が常駐することで、モノづくり拠点地域としての強みを生かし、全国から寄せられるモノづくり相談に対応し、企業間ネットワークの強化を図る。また、製造業では引き続き大阪市内で開催する展示商談会「テクノメッセ東大阪事業」や商圏拡大に向けた「広域連携ビジネスマッチング事業」など販路拡大に向けた事業を実施する。次に女性の能力を活用するとともに活躍の場を広げるべく実施する「中堅・中小企業における女性の活用・戦力化支援事業」、就業体験を通じて中小企業の魅力を伝える「インターンシップ支援事業」、外国人労働者雇用を促す「中小企業のための『外国人留学生』採用・定着支援事業」など人手不足を解消する事業などを実施する。小売業、飲食業、サービス業の支援に当たっては、コロナ禍でも営業を円滑にすすめる「キャッシュレス化の推進事業」を実施し、管内商業者のキャッシュレス決済システム導入を促す。また、昨今の経済情勢で疲弊する商店街の活性化を図る「商い賑わい祭り事業」を実施し消費喚起を行っていく。さらにテレワーク導入やBCP策定支援、事業再構築事業計画作成支援でコロナ禍でも事業が円滑に行われるように支援していく他、新エネルギー産業への参入促進を図る。最後に新型コロナウイルス感染拡大の影響で疲弊する小規模事業者に対して経営指導員が資金繰りや販路拡大等の経営課題に対し、企業それぞれに合った伴走支援を行い、経営の改善、安定化に繋げていき、以って所管地域の活性化を図っていくことを主な目標とした。</p>
<p>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</p>
<p>上記事業の目標を見据えてMOBIOでは、全国から寄せられるモノづくりに関する相談1,034件に対して、東大阪市内を中心に大阪府内の技術力のある事業所を紹介・斡旋することで府内製造業の販路拡大に努めた。また“テクノメッセ東大阪”では、出展社間の空間を広く取ることで新型コロナウイルス感染症リスクに配慮したリアル展示会を開催し、販路開拓に努めた。また、広域連携ビジネスマッチング事業では、東京・福井の事業所と商談会を開催し、発注企業が多かったことで、ほとんどの事業所が商談の機会を持つことができ、販路開拓につながった。また、商業者向けに実施した“商い賑わい祭り事業”では、地域住民など消費者へ市内商店街の魅力や新たな取り組みをPRするため、チラシを作成し新聞折込で支援対象個店や商店街の集客に努め、且つ売上増加を支援した。最後に経営指導員の巡回・窓口による経営相談支援事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による資金繰り面へのサポートをする為の金融支援や、事業再構築のための事業計画書作成支援など直面する経営課題に対し、有効な支援を行った。</p>
<p>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</p>
<p>“テクノメッセ東大阪”では、引合い件数は5,137件となり満足度は93.4%と好評であった。“商い賑わい祭り事業”では、商店街の年末イベントの企画決定時期が本事業の広報時期と合わず、参加企業数が少なかったものの、イベントチラシの配布により商店街への来街者が増え、売上増加につながった。人材確保を支援する事業として行った“女性の活用・戦力化支援事業”、“インターンシップ支援事業”、“外国人留学生採用・定着支援事業”では、参加企業が目標に達せず、また、“求人・求職マッチング事業”では、求職者も少なく、苦戦を強いられた。“BCP・BCMの普及促進事業”では、南海トラフ地震を想定した簡易版BCPを作成し、管内企業のBCP策定を促進した。地域活性化事業全体を通して、新型コロナウイルスの影響は薄れてきており支援実績率も回復しているものの、満足度はあまり伸びなかった。経営相談支援事業では新型コロナウイルス感染拡大の影響で資金繰りが悪化している事を受けた金融支援やコロナ禍での新たな事業展開を図る為の事業計画書作成支援、売上の確保をする為の販路開拓支援が多く、それらのサポートにより、小規模事業者の課題解決に努め、満足度は高かった。</p>
<p>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</p>
<p>地域活性化事業においては、全体的に支援計画に対し実績が届かない事業が散見され、満足度が上がった事業もあれば、下がった事業もあり、実施方法や実施時期、集客方法の見直しが必要である。経営相談支援事業については、画一的な指導ではなく、各事業所に沿った支援内容や手法を効果的に講じ、当面の課題解決だけでなく先々の成長、安定に向けた支援を行うなど支援対象企業に寄り添って伴走支援する事が求められる。</p>
<p>(5) 次年度の取り組み</p>
<p>経済環境の動向に注視しながら、小規模事業者・中小企業が抱える課題解決に向けた事業を展開していく。ウイズコロナに加え、原材料の高騰や円安の影響で管内の中小企業・小規模事業者は打撃を受けており、様々な課題に直面している事を踏まえ、これまでも本所においては個社支援である経営相談支援事業を積極的に展開してきたが、引き続き各事業者が抱える課題に対応する事が必要と考える。更に、専門性の高い事業については弁護士や税理士などの専門家派遣制度を活用して対応する。地域活性化事業については、新たにブランディング事業を実施し、地域製造業の製品力を高めると共に、広域連携による商談会や大規模展示会の開催を通して売上増進を図っていく。</p>

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 東大阪商工会議所

I 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>経営指導員が管内中小事業者へ、個々が持つ経営課題に対して支援を行った。カルテ全体では993件ののぼり、今回、資金繰り面をサポートする為の金融支援が経営指導型・紹介型を合わせて276件あった。また、販路開拓支援（242件）や新たな事業計画の作成支援は208件あり、事業継続に向けた支援を行った。</p> <p>【金融支援】 A社は高層ビルや大型商業施設等の基礎工事を行っている。社内で新型コロナウイルス感染がまん延したことで、一時受注が受けられず、売上が減少したものの大型の取引(工期2年、売上5億)が入り、先行発生する外注費等の資金調達が必要であるとの相談があり、マルケイ融資での資金調達を提案したところ、すすめることとなった。その結果、運転資金2000万円の融資が実行され、経営の安定につながった。</p> <p>【事業計画作成支援】 T社は印刷業を営んでいる。新型コロナウイルス感染拡大の影響やデジタル化に伴い、印刷需要が減少し、業績が下がっている。そこで新たな販路を開拓するための事業計画書の作成支援を行った。結果、新たな販路となる高齢者向け手作りキットを効率的に作成する機材の導入とその広報をする事業計画を作成することができた。</p>						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	890	936	105.2%	5	
支援機関等へのつなぎ	支援数	14	9	64.3%	3	
金融支援（紹介型）	支援数	50	45	90.0%	4	
金融支援（経営指導型）	支援数	225	231	102.7%	5	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	15	12	80.0%	4	
資金繰り計画作成支援	事業所	0	0			
記帳支援	事業所	26	32	123.1%	5	
労務支援	支援数	125	128	102.4%	5	
人材育成計画作成支援	事業所	33	33	100.0%	5	
マーケティング力向上支援	事業所	0	0			
販路開拓支援	支援数	235	242	103.0%	5	
事業計画作成支援	支援数	230	208	90.4%	5	
創業支援	事業所	3	2	66.7%	5	
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	1	1	100.0%	5	
コスト削減計画作成支援	事業所	12	15	125.0%	5	
財務分析支援	事業所	7	12	171.4%	5	
5S支援	事業所	10	23	230.0%	5	
IT化支援	事業所	0	0			
債権保全計画作成支援	事業所	0	0			
事業承継支援	事業所	0	0			
災害時対応支援	事業所	0	0			
フォローアップ支援	事業所	0	0			
結果報告	事業所	890	936	105.2%	5	
II 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>今年度は法務相談が非常に多く、内容も、売掛金や家賃滞納に対する対処法や、ネットでの無料広告申込から有料移行への切り替えトラブルなど多岐に渡っていた。税務相談も前年度の倍の相談があり、法人化を考えている事業者が半数あった。労務相談では、就業規則の作成や改訂に関する相談が多かった。また、その他相談では、事業再構築補助金やものづくり補助金など補助金に関する相談が多かった。専門家による高度な相談支援については、相談に対する明確な対処方法や指導を実施し、相談者がその対応を図る事で、課題解決が図られている。</p>						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談	継続	相談件数	12	29	241.7%	5
税務相談	継続	相談件数	3	10	333.3%	5
労務相談	継続	相談件数	12	11	91.7%	4
その他相談	継続	相談件数	11	10	90.9%	4
倒産防止	継続	相談件数	2	2	100.0%	3

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>人材確保事業については、新型コロナウイルス感染症の影響も薄まり、企業の採用意欲は戻ってきているものの、求職者不足のため、利用者満足度はなかなか上がらなかった。特に外国人留学生の採用・定着支援事業は、採用するための手続きが煩雑で業務も限られていることが壁となり、支援実績も満足度も上がらない状況である。</p> <p>製造事業社支援については、テクノメッセ東大阪が昨年に引き続きコロナ禍での開催となったが、来場者数も昨年度より増え、国内大手デバイスの生産販売をするメーカーより試作品の受注が決定するなど販路開拓につながった。</p> <p>商業者支援については、商い賑わい祭り事業で、商店街のイベントや魅力を掲載したチラシを作成し、新聞折込により市域住民に広くPRしたことで、市域商店街の活性化につながった。</p> <p>この他、大阪東部地区5商工会議所が連携して実施した“売りメッセ取引商談会in東大阪”では、コロナ禍の開催で目標値を下回ったものの、バイヤーからの情報で消費者動向が分かったなど満足度は100%であった。また、“BCP・BCMの普及促進事業”では、南海トラフ地震を想定した簡易版BCP策定を実施した他、事業承継支援ネットワーク事業では、松原商工会議所と連携し事業承継に関するセミナーを各市域で実施することで事業承継に関する取り組みを促進した。</p>										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	広域連携ビジネスマッチング事業	30	18	60.0%	88.9	商談成約件数	4	1	25.0%	4
	テクノメッセ東大阪事業	100	80	80.0%	88.8	引合い件数	5500	5137	93.4%	5
	商い賑わい祭り事業	32	23	71.9%	95.7	売上が向上したと回答した商店街・市場の割合	70%	60.80%	86.9%	5
	インターンシップ支援事業	116	101	87.1%	38.6	参加企業に対する貢献度	70%	100%	142.9%	3
	熟練技能者育成支援事業	80	78	97.5%	91	講義を受けて理解したと回答した割合	70%	96%	137.1%	5
○	中堅・中小企業における女性の活用・戦力化支援事業	45	42	93.3%	73.8	合同企業説明会面談数	150	67	44.7%	3
○	中小企業のための、「外国人留学生」採用・定着支援事業	80	26	31.9%	87.5	外国人留学生採用への取組企業	50%	74%	148.0%	5
○	求人・求職マッチング事業	150	183	122.0%	63.4	合同企業面談数	200	150	75.0%	3
○	BCP・BCMの普及促進事業	22	16	72.7%	100	簡易版BCP「これだけは！」シート等のBCP作成企業数	20	14	70.0%	4
○	ものづくり支援拠点(MOBIO)連携推進事業	270	1,034	383.0%	100	引合い斡旋件数	500	1034	206.8%	5
○	経営革新の支援事業	30	28	91.7%	88	経営革新計画承認に向けた取組割合	10%	60.80%	608.0%	5
○	人材ニーズ対応支援事業	25	23	92.0%	95.7	(公財)大阪産業局との連携により人材を確保をはじめとした人材戦略に取り組む企業数	5	4	80.0%	5

○	技術専門校を活用した 中小企業従業員等の技 術向上事業	30	29	96.7%	96	受講したセミ ナーやワーク ショップで得 た基礎知識が 製造現場で活 用できると感 じた事業所数	10	26	260.0%	5
○	キャッシュレス化の推 進事業	28	16	57.1%	100	キャッシュレス 決済システム導 入の必要性を理 解した企業割合	60%	64.20%	107.0%	5
○	テレワークの導入・定 着支援事業	20	17	82.5%	93.8	テレワーク導 入を検討する 企業数	10%	8%	80.0%	5
○	新事業展開チャレンジ 支援事業	50	39.5	79.0%	92.3	事業再構築をす るための事業計 画を作成するた めに必要な知識 を理解できたと 感じた事業所数	40	39	95.0%	5
○	新エネルギー産業分野 への参入促進事業	50	50	99.0%	95.8	新エネル ギー・脱炭素 推進について の理解が深 まった企業割 合	70%	51%	72.7%	5

(2) 広域事業（幹事事業のみ）

府施 策 連 携	事業名	総支援企業数		支援 実績率	利用者 満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	技能検定の活用促進事 業	25	23	90.0%	100	技能検定の活 用への取組を 検討する	100%	90%	90.0%	5
○	事業承継支援ネット ワーク事業	40	27	66.3%	100	事業承継診断実施企業数	40	25	62.5%	4
	売りメッセ取引商談会 in東大阪事業	135	116.5	86.3%	100	商談件数	400	321	80.3%	4

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

東大阪商工会議所

事業名		広域連携ビジネスマッチング事業							
想定する実施期間		2008 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	市域製造業と他都市の製造業が商談・交流をすることにより、受発注の販路開拓・共同開発や情報交換に繋げ市域内企業の活性化を図る。また、府外他商工会議所等との連携により、事業規模拡大に繋げ相乗効果を図り、取引マッチングの獲得を目指す。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内域製造業者 5, 954社 *平成28年経済センサス活動調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	2022年10月14日(金) 9時～17時 「ザ・商談 し・ご・と発掘市」 会場：東京都立産業貿易センター浜松町館 参加企業数全体 発注企業 59社、受注企業156社(東大阪 7社) 商談件数 15件							
		2022年10月31日(月)～11月25日(金) 「ふくいオンラインビジネス商談会」 参加企業数全体 316社(東大阪 2社) 商談件数 202件(東大阪 5件)							
		2022年12月14日(水)～15日(木) 「東京ビジネスチャンスEXPO」 会場：東京ビッグサイト 出展者数297社・団体(東大阪 6社) オンライン展：12月5日(月)～19日(月)							
		2023年3月10日(金) 9時～17時 「ザ・商談 し・ご・と発掘市」 会場：東京都立産業貿易センター浜松町館 参加企業数全体 発注企業 64社、受注企業172社(東大阪 3社) 商談件数 9件							
<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>									
	①府施策連携								
	②広域連携								
	③市町村連携								
	④相談	DMチラシによるPRのほか、各経営指導員が相談で得た情報を共有し、新規取引先企業を探したい事業所に個別でイベントの情報を提供している。							
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	18.0	支援実績率	60.0%	満足率	88.9%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今年度は、東京商工会議所が中心となり全国38商工会議所が共催する「ザ・商談! し・ご・と発掘市」は10月と翌年3月に開催、受注企業10社が参加。11月には福井商工会議所が中心となり、北陸・関東・中部・関西の商工会議所が参加する「ふくいオンライン商談会」は2社の参加となった。また、12月は東京商工会議所が主催する「東京ビジネスチャンスEXPO」に全国9商工会議所が参加し、市内企業6社が参加した。 いずれの商談会も発注企業が多かったため、商談件数が多くとれたと喜ばれた。出会ってすぐに、成果を出すことが難しい中、1件の商談が結びついたと報告を受けた。引き続き、コンタクトを取ることで更なる受注に結び付ける。							
		代表指標	商談成約件数						
		数値目標	4	実績数値	1	目標達成度	25.0%		
	成果の代表事例	A社 東京の展示商談会で、仕事を貰い取引成立となった。引き続き、コンタクトを図ることで更なる受注に繋がるよう営業を続ける。 B社 今年商談が繋がったところではないが、東京の商談会に参加して3年の月日が経ち年間取引に繋がりが、今後も期待を寄せる取引に繋がっている。							
その他目標値の実績		目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	商談会への取組は、管内事業所にPRを行い、沢山の事業所を商談会に参加してもらうことであったが、長引く新型コロナウイルス感染症拡大で、リアル商談会への参加を敬遠する事業所があり、昨年より参加企業数は減少した。しかしながら、取引商談会は、オンラインで行うよりも担当者同士が会って取引の細部まで調整が可能なりリアル商談で開催すべきと各商工会議所が強調しており、引き続き商談会を開催し、管内事業所が満足できる場を提供することが必要である。							

東大阪商工会議所

事業名		テクノメッセ東大阪事業							
想定する実施期間		1987 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が低迷する企業が多い中、本展示会を通して販路拡大を図ると共に、市域中小企業が誇る新技術や最新情報の入手、技術連携先の発掘を目的に開催する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内製造業者 42,680社 *平成28年経済センサス基礎調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	日 時 : 2022年11月9日(水) 9:30~17:00・10日(木) 9:30~16:00 会 場 : マイドームおおさか 1階展示場 出展者数 : 92社・団体 100小間 来場者数 : 延べ8,574人 引合い件数: 5,137件							
		<事業手法 (①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果) の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携	東大阪市が補助金を交付。また、東大阪市の記者クラブを介して、プレスリリースした他、市政だより等で事業を告知する等、PR活動において連携している。								
④相談相乗									
計画に対する実績 (数値)	総支援企業数(計画)	100	総支援企業数(実績)	80	支援実績率	80.0%	満足率	88.8%	
事業全体の実績 / 目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	2023年11月9日・10日の両日、マイドームおおさかに於いて「舞いあがれ!新たな時代へモノづくり」をテーマに、各出展者ブースで東大阪地域企業が誇る製品・技術をPRし、特別企画展として東大阪企業が取り組む先端技術・製品を展示した結果、延べ8,574人の来場者があった。昨年に引き続きコロナ禍での開催であったが来場者数も増え、同時開催イベント『きたしんビジネスマッチングフェア』と連携した広報に効果が現れた。 引き合い件数については目標 (5,500件) に対し、5,137件の引き合い数となった。出展者アンケートでは、「前年度より来場者数が多く引合いにつながった」、「様々な業界の方と話ができて、有意義であった」との声があり、来場者アンケートについても展示会の印象は「良かった」との回答が64.0%とコロナ禍での開催であったが、次年度以降、多くのリピーターが来場者として見込める。 本産業展を通して、支援企業に新たな販路拡大の機会を提供することができた。							
	代表指標	引き合い件数							
	数値目標	5,500	実績数値	5,137	目標達成度	93.4%			
成果の代表事例	国内大手電子デバイスの生産販売をするメーカーより試作品の受注が決定するなど、出展企業全体で14社52件547万円の商談が成立。販路拡大に繋がった。今年度は連続テレビ小説放映の舞台としても話題となったことから、展示会に対する注目度も高く出展者PRにも大きく貢献した。								
その他目標値の実績	目標値 (計画)						目標達成度		
	目標値 (実績)						目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	昨年に引き続きコロナ禍での開催となったが、来場者数も昨年度より増え、盛況のうちに終わることができた。次年度以降も広報媒体等考え来場者数の維持・増加に努めていきたい。一方で引き合い件数が目標である5,500件を下回る結果 (5,137件) となった。本年5月より新型コロナ5種に引き下げになることから、会場であるマイドームおおさかと会場レイアウトや出展企業増に向けた調整を進めたい。							

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

東大阪商工会議所

事業名		商い賑わい祭り事業							
想定する実施期間		2015 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルス感染症拡大により国による緊急事態宣言の発出を受け、飲食店を中心に商業者全般に大きな影響を及ぼしている。商業者の集合体である商店街・市場は厳しい状況が続いている。予断を許さない状況ではあるが、2022年はWITHコロナを見据えた取組みを商店街として積極的に活動することが必要となっている。以上のことから商店街・市場が催すイベント等を広域にPRして地域住民に改めて商店街・市場の魅力を発信することで市域商店街・市場の活性化を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	東大阪市内の58商店街、2市場							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【商い賑わい祭りちらし作成・配布】</p> <p>作成部数：102,000部</p> <p>配布方法：4大新聞（読売、朝日、産経、毎日）市域10万世帯分を新聞折込</p> <p>折込日：2022年11月26日（土）</p> <p>掲載商店街数：25商店街等</p> <p>掲載内容：25商店街の年末のイベントもしくは商店街の魅力について掲載</p>							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携									
④相談相乗	既カルテ化事業者の地域活性化への参加促進								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	32.0	総支援企業数(実績)	23.0	支援実績率	71.9%	満足率	95.7%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	新型コロナウイルス感染拡大により、年末のイベントを控えていた商店街も昨年夏以降は規制も緩和されており、年末のイベントを計画する商店街も増加していたが、チラシの配布が11月下旬から11月末のため、実施することは決まっているが内容が確定していないため、原稿が間に合わないといったケースがあったことから本年度は掲載商店街数が減少した。次年度については各商店街に早めにイベントの企画を確定するように促すことで掲載商店街を増加させる。							
		代表指標	売上が向上したと回答した商店街・市場の割合						
		数値目標	70%	実績数値	60.8%	目標達成度	86.9%		
	成果の代表事例	H商店街においてはちらしを配布後、商店街への来街者は増加し加盟店舗の売り上げが増加したとの声があった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)					目標値(実績)	目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	掲載商店街数は昨年を下回る結果となった。これは新型コロナウイルス感染拡大による規制が昨年の秋口から緩和され、市内各商店街も年末のイベントを実施する計画はしていたが、本ちらしが11月末頃の発行となったため、企画内容が決定できず、掲載できない商店街もあった。次年度においては各商店街に早めにイベントの企画を策定するよう促すことで掲載商店街数は増加すると考える。本ちらしへの掲載については、無料で実施していることから商店街にとっては非常に有益な支援策と考える。							

東大阪商工会議所

事業名		インターンシップ支援事業								
想定する実施期間		2014 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	インターン生がものづくり企業で職場体験を積むことで、将来の産業界を支える人材育成に寄与するとともに、大学等と地域企業の連携を深めることを目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内製造業者 5,954 社 ※平成 28 年経済センサス活動調査結果より								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	インターンシップ受入企業を発掘。受入条件やカリキュラム等をガイドブックとして取りまとめ、インターン生派遣を希望する大学・高専・工科高校・専門学校等のキャリアセンターなどに情報提供し、学生の就業体験の機会を創出する。 2022年 4月・・・受入企業募集 2022年 5月・・・受入企業ガイドブック作成 2022年 6月・・・受入企業ガイドブックを参加大学・受入企業へ発送 2022年 7月・・・事業実施(大学・企業間でインターンシップの実施交渉) 2022年 7月～ 9月・・・受入企業でインターンシップを実施 2022年10月～12月・・・インターンシップ実習報告・アンケート回収、集計								
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
		②広域連携								
③市町村連携		本所は事業の企画・運営を担い、市は事業への補助金交付による支援を行う。								
④相談相乗										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	116.0	総支援企業数(実績)	101.0	支援実績率	87.1%	満足率	38.6%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	インターンシップ受入企業は、目標件数 116 社に対し、 101 社が参加し、満足度を確認したところ、コロナ禍により依然学生のインターンシップへの参加意欲が低く、 38.6% となった。また、インターン生の受入を実施した企業は 18 社で、全ての企業がインターンシップの取り組みに関して、社会貢献できた、インターンシップ担当者の指導力・資質向上に繋がったなどの回答を得た。今後も職場体験の機会を促進するため、受入企業の増強を図る。								
		代表指標	本事業の参加企業に対する貢献度							
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%			
	成果の代表事例	参加学生については、市域モノづくり企業を体験をすることにより、現場の空気を感じ、モノづくりに親近感を持ってもらうことで、地域製造業への就業の動機付けをするよい機会となった。受入企業については、社会貢献に寄与するだけでなく、会社のイメージ向上や大学等へのPRなどにも繋がった。								
		以下は受入企業のコメント 【M社】 皆さんこちらの説明に真剣にまた熱心にモノづくり作業取り組んでいた姿をよく覚えています。 気持ちのよい挨拶ができ、敬語やマナー、常識も兼ね備えていました。 これから立派な社会人になれるように期待しております。								
その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	近年、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、受入企業・参加学生数ともに低調であるが、今年度はコロナ対策の緩和などにより、学生のインターンシップへの参加意欲はこれから上がっていくものと考えられる。そこで各学校との連携をより密にし、学生に事業を広くPRすることで、受入企業各社の魅力を伝え、インターンシップの実施に繋げる。								

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

東大阪商工会議所

事業名		熟練技能者育成支援事業							
想定する実施期間		2014 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	地域製造業の持続的発展を図るため、基盤技術や熟練技能の円滑なる承継、また生産現場を統括するリーダーの育成は必要不可欠であることから、技能、現場管理の両面から人材を育成する事を目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内製造事業者 5,954社 *平成28年経済センサス活動調査により							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	生産現場リーダー能力開発研修「現場リーダーのあるべき姿と仕事の教え方」(2022年7月20日開催) 参加企業33社46名 「切削加工技術力向上のための部品加工図面の読み方・描き方セミナー」(2022年8月24日開催) 参加企業34社50名 生産現場における管理監督者の資質向上により技能者育成の円滑化を図る講座「生産現場リーダー能力開発研修」と、切削加工技術の基礎となる部品加工図面の読み方、見方、描き方を学び作業の平準化による技能継承を図る講座「切削加工技術力向上のための部品加工図面の読み方・描き方セミナー」をNPO「地域基盤技術継承プラザ」と連携し開催した。 ----- <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
		③市町村連携	本所は事業の企画・運営を担い、市は事業への補助金交付による支援を行う。連携については、市の広報(市政だより等)で事業のPRのみの側面協力を行い、事業については全て会議所が主体となり、NPO「地域基盤技術継承プラザ」と連携し、非会員事業者への周知も行う。						
④相談相乗									
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	80.0	総支援企業数(実績)	78.0	支援実績率	97.5%	満足率	91.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	各講習会の評価(満足率)は次の通りである。 生産現場リーダー能力開発研修 93.5% 切削加工技術力向上のための部品加工図面の読み方・描き方セミナー 92.0% 講義を受けて理解したと回答した割合は次の通りである。 生産現場リーダー能力開発研修 100.0% 切削加工技術力向上のための部品加工図面の読み方・描き方セミナー 92.0%							
		代表指標	講義を受けて理解したと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	96%	目標達成度	137.1%		
	成果の代表事例	いずれのセミナーも参加者の9割以上が「満足」、「おおむね満足」と回答。部品加工図面の読み方・書き方セミナーでは7割が「図面を読む手法を学ぶ事ができた」と回答している。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	申込み人数を見ると、両セミナーともニーズは高いと考えられるが、部品加工図面の読み方・描き方セミナーについては、「初心者には分かりづらい用語が使用されていた」、「進捗が速かった」といった回答が見受けられたため、セミナーの進め方などについて講師と相談しながら検討していく。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40.0	支援企業数(実績)	38.0	支援実績率	95.0%	満足率	93.9%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	受講の効果としては「リーダーとしての心構えができた」と回答した者が最も多く、次に「図面を描く手法を学ぶことができた」と回答した者が多かった。							
		指標	講義を受けて理解したと回答した割合						
		数値目標	70%		実績数値	100%		目標達成度	142.9%
その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度		
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40.0	支援企業数(実績)	40.0	支援実績率	100.0%	満足率	88.2%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	受講の効果としては「図面を読む手法を学ぶことができた」が最も多く、次に「図面を描く手法を学ぶことができた」と回答した者が多かった							
		指標	講義を受けて理解したと回答した割合						
		数値目標	70.0%		実績数値	92.0%		目標達成度	131.4%
その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度		
実績／達成度③	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)		支援企業数(実績)		支援実績率		満足率	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)								
		指標							
		数値目標			実績数値			目標達成度	
その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度		

東大阪商工会議所

事業名 中堅・中小企業における女性の活用・戦力化支援事業

想定する実施期間 2019 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の目的
(現状や課題をどのような状態にしたいか)

労働力人口の減少により、中小企業では新たな人材の獲得が難しい状況にあり、慢性的な人手不足に陥っている。新型コロナウイルス感染症の拡大による売上減少に伴い、新規での採用を見直す企業はあるものの、アフターコロナに向けて売上を維持するには人材確保が欠かせない。そこで子育てなどを理由に職を離れた働く意欲のある女性の活用を普及啓発すると共に、雇用機会を提供することで中小企業における人手不足の解消を図る。

支援する対象
(業種・事業所数等)

府下全業種の事業所を対象 事業所数**392,940**社
※平成**28**年経済センサス活動調査結果より

事業の概要

実施時期・具体的な内容及び事業手法

【女性向け合同企業説明会の実施】
日時：2022年12月2日（金）10時～13時
場所：東大阪市リージョンセンター夢広場 多目的ホール
出展企業：20社（当日1社キャンセル）
参加者：34名
面談数：67件

【シニア&マザーズ雇用促進活性化事業セミナーの実施】
日時：2023年2月27日（月）14時～16時
場所：東大阪商工会議所 本所本館4階大会議室
テーマ：多様な人材が活躍すれば会社が伸びる
内容：【基調講演】
テーマ：誰もが輝ける職場づくりへ！
講師：㈱ICB
【先進企業事例】
①テーマ：70歳現役社会の実現に向けて
講師：㈱仁張工作所
②全従業員が女性
講師：㈱Eikyū
【施策紹介】
①(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 大阪支部
②OSAKAしごとフィールド 中小企業人材支援センター
参加者数：23社23名

<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>

①府施策連携	大阪府商工労働部雇用推進室就業促進課やOSAKAしごとフィールドと連携して実施する。
②広域連携	
③市町村連携	市より事業への補助金を交付及び広報の協力
④相談相乗	

計画に対する実績（数値）

総支援企業数(計画)	45.0	総支援企業数(実績)	42.0	支援実績率	93.3%	満足率	73.8%
------------	------	------------	------	-------	-------	-----	-------

事業全体の実績/目標
目標の達成度
(支援企業をどう変化させることができたか)

女性向け合同企業説明会については、当日のキャンセルがあり**19**社であったが、申込としては目標の**20**社あった。シニア&マザーズ雇用促進活性化事業セミナーにおいても参加企業数は目標**25**社に対して**23**社の参加があった。いずれの事業においても概ね目標を達成したと考える。しかしながら、女性向け合同企業説明会の求職者の参加者数は**34**名と目標の**3**割強、面談数も**67**件と目標の**4**割強と目標を大きく下回っている。但し、合同企業面接会の求職者の参加については全国的に減少傾向にある。これは求職者の求職活動の手法が合同企業説明会を活用する割合が減少し、スマートフォンなどで企業に直接アタックするケースや人材紹介会社を活用した求職活動の割合が急激に伸びていることが要因と考える。但し、企業ニーズは依然として高く、次年度については求職者向けの広報方法などを見直し、求職者の参加者数の増加を図る。満足度については女性向け合同企業説明会は**42.1%**と低かった。これは来場者数が少なかったことが要因であると考え。シニア&マザー雇用促進セミナーは**100%**と非常に高かった。

標 達 成 度	代表指標	合同企業説明会面談数				
	数値目標	150件	実績数値	67件	目標達成度	44.7%
	成果の代表事例	女性向け合同企業説明会においてE社では採用に繋がりそうな人材4名に出会えたとの喜びの声があった。				
	その他目標値の実績	目標値 (計画)	100名	目標値 (実績)	34名	目標達成度 34.0%
実 施 結 果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	女性向け合同企業説明会における求職者の参加が少なかった。次年度については求職者への広報方法、実施時期、会場などを見直し参加者数を増加させる。				

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	95.0%	満足率	42.1%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	参加企業の満足率が低く、高めるためには参加者（求職者）数の増加を図ることで解消できると考える。尚、支援企業数は目標値の 95% であり達成したと考える。							
		指標	合同企業説明会の面談数						
		数値目標	150	実績数値	67	目標達成度	44.7%		
その他目標値の実績	目標値（計画）	100	目標値（実績）	34	目標達成度	34.0%			
	合同企業説明会の参加者（求職者）数								
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	25.0	支援企業数(実績)	23.0	支援実績率	92.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	参加企業数は目標数を若干下回ったものの、満足度は 100% と非常に高く参加企業の女性活用の促進に繋がったと考える							
		指標	参加者満足度						
		数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%		
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				

東大阪商工会議所

事業名		中小企業のための「外国人留学生」採用・定着支援事業						
想定する実施期間		2018 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	少子高齢化に伴う労働力人口の減少に伴い、中小企業等は人材確保に苦慮している。そのような中、外国人雇用者数は 172万人 を超え過去最高となっており、外国人の労働力は国内においては重要な労働力となっている。そこで、外国人雇用における基礎知識や採用に関する情報等の習得と共に雇用機会を提供することで、就職を希望する外国人留学生とマッチングさせ、中小企業における人手不足の解消とグローバル化を図る。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下全業種の事業所を対象 事業所数 392,940社 ※平成 28 年経済センサス活動調査結果より						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【外国人雇用対策セミナーの実施】</p> <p>日 時：2022年6月22日（水）14時～16時30分</p> <p>場 所：東大阪商工会議所本所本館4階大会議室</p> <p>テーマ：気になる外国人材雇用の最新情報と雇用の秘訣</p> <p>内 容：第1部 テーマ：外国人材受け入れ制度の概要と雇用活用のポイント 講 師：法務省大阪出入国在留管理局 審査管理部門</p> <p>第2部 テーマ：失敗しない外国人留学生の採用と留学生の活かし方 講 師：①学校法人エール学園 キャリア支援本部 ②森興産(株)</p> <p>第3部 テーマ：わが社の外国人材雇用について 講 師：藤本産業(株)</p> <p>第4部 テーマ：各機関の施策説明 講 師：①大阪府商工労働部 雇用推進課 就業促進課 企業支援グループ ②日本貿易振興機構（ジェトロ）大阪本部 ビジネス情報提供課</p> <p>参加者数：19社22名</p> <p>【外国人留学生向け合同企業説明会・業界研究会の実施】</p> <p>日 時：2022年8月22日（月）10時～16時</p> <p>場 所：東大阪商工会議所本所本館4階大会議室</p> <p>出展者：5社（1社当日欠席）</p> <p>参加者：32名</p> <p>面談数：46件</p> <p>就職者：0名</p> <p>----- <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>						
	①府施策連携	大阪府商工労働部雇用推進室就業促進課や OSAKA しごとフィールドと連携して実施する。						
	②広域連携							
③市町村連携	市より事業への補助金を交付及び広報協力							
④相談相乗								
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	80.0	総支援企業数(実績)	25.5	支援実績率	31.9%	満足率	87.5%
事業全体の実績／日	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	外国人雇用促進セミナー、外国人留学生向け合同企業説明会のいずれの事業においても目標数値の半数以下の結果となった。この要因として、新型コロナウイルス感染拡大により、本市域中小企業における新規での雇用意欲が感染拡大前に比べると落ち込んでいることが上げられる。参加を各事業所に架電で依頼した際に、事業所から労働力は現状では不足しているが今後の景気動向が見極めれない中、外国人留学生を新たに雇用するだけの余力はないとの声が非常に多かった。もう一つの要因としては、外国人特に外国人留学生を採用するにあたっての条件や手続きなどがわからない、煩雑であることなども挙げられる。このようなことから、本年の3月に「専修学校・大学等外国人留学生就職担当者企業採用担当者との情報交換会」を実施したところ、 20社 を超える参加があり満足度も高かったことから、潜在的なニーズは高いと考える。更に新型コロナウイルスも本年5月に5類に引き下げられることから、国内のインバウンド需要も回復していくことが予想され、景気は回復すると考えられる。また、市域中小企業の労働力不足は今後一層深刻になることから、外国人材をはじめとして多様な人材の活用は重要である。						

目標達成度	代表指標	外国人留学生採用への取組み企業				
	数値目標	50%	実績数値	74%	目標達成度	148%
	成果の代表事例	外国人留学生向け合同企業説明会において、残念ながら今回は採用には繋がらなかったものの、B社では良い人材に出会えたとの回答があった。				
その他目標値の実績	目標値(計画)	100名	目標値(実績)	32名	目標達成度	32.0%
	外国人留学生を採用する企業数					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今回は外国人雇用促進セミナー、外国人留学生向け合同企業説明会いずれも参加企業数が目標値の3割強と非常に低かった。新型コロナウイルス感染拡大により先々の景気の見通しが見えない中、新たに外国人の採用を考える企業が減少したことが考えられる。一方で中小企業における労働力不足は慢性的に課題としてあり、新規雇用確保を考える中小企業は多くある。昨年の秋以降、新型コロナウイルス感染拡大による規制が緩和されはじめ、本年の5月には5類に引き下げられることから一定の景気の見通しがつき、中小企業における新規採用の意欲が高まってきている。今回、3月20日に専修学校・大学等外国人留学生就職担当者と企業採用担当者との情報交換会を実施したところ24社(申込25社)の参加があり、外国人留学生の新規採用への意欲が出てきたことが伺える。				

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	65.0	支援企業数(実績)	20.5	支援実績率	31.5%	満足率	94.7%	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	参加企業数は目標値の3割程度と少なかったが、外国人留学生の採用を新たに検討する企業が4社あった。市域事業所の外国人留学生など外国人材活用の促進することが出来た。								
		指標	外国人留学生採用への取組み企業							
	数値目標	50.0%	実績数値	74.0%	目標達成度	148.0%				
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	5.0	支援実績率	33.3%	満足率	60.0%	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	目標の1/3の企業支援に留まった。大きな要因としては上記で述べた通りであるが、6月に神戸にて外国人留学生を対象にした合同企業説明会があり、実施時期が近かったことも要因としてはあ								
		指標	外国人留学生を採用する企業数							
	数値目標	2社	実績数値	0社	目標達成度	0.0%				
その他目標値の実績	目標値（計画）	100名	目標値（実績）	32名	目標達成度	32.0%				
	開催時期が夏休みであったこと、2か月前に神戸にて大規模な外国人留学生向け合同企業説明会が開催されていたこともあり参加者数は少なかったことから、次年度は開催時期を見直す。									
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)		支援企業数(実績)		支援実績率		満足率		
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）									
		指標								
	数値目標		実績数値		目標達成度					
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					

東大阪商工会議所

事業名		求人・求職マッチング事業
想定する実施期間		1997 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	少子高齢化に伴う労働力人口の減少、新規学卒者や転職者の大企業志向から中小企業を取り巻く雇用環境は厳しい状況にある。そこで新規学卒者等を対象とした合同企業説明会や求人サイトの運営による雇用機会の創出、大学との情報交換会や中高卒の新規学卒者を雇用するための説明会による情報収集の場を提供することで人手不足の解消を図る。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内事業所 22,089社 ※平成28年経済センサス基礎調査結果より
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	事業：東大阪合同企業説明会2023 日時：2022年6月27日(月) 10時30分～16時30分 場所：大阪商業大学 ユニバーシティ・コモンズリアクト3F 内容：市域企業の新卒者採用を円滑に進める事を目的に令和5年3月卒業予定の大学・短期大学・専門学校生及び既卒の方を対象に合同企業説明会を開催した。 企業数：27社 来場数：28名 面談数：90件
		事業：東大阪合同企業説明会2023 日時：2023年3月8日(水) 10時～15時 場所：東大阪商工会議所 4F大会議室 ※大学（近畿大学）にて実施予定が新型コロナウイルス感染症の影響で使用不可のため会場変更 内容：市域企業の新卒者採用を円滑に進める事を目的に令和5年・令和6年3月卒業予定の大学・大学院・短期大学・高等専門学校・専修学校等の学生、卒業後3年以内の若者、概ね35歳までの若年求職者・転職希望者を対象に合同企業研究会を併催した。 企業数：22社 来場数：20名 面談数：60件
事業：大学キャリアセンターと企業採用担当者との情報交換会 日時：2023年2月3日(金) 13時30分～17時30分 場所：東大阪商工会議所 4F大会議室 内容：第一部 ①「最近の就職活動の動向について」 (株)ディスコ関西支社 ②参加大学の紹介 第二部 グループ別名刺交換及び情報交換 参加者：大学13校14名 参加企業42社		
	事業：就職プラザ 開催期間：2022年4月～2023年2月（3月は更新期間） 内容：インターネットを通じた新規学卒者用求職マッチングサイト。市内企業の新規大学卒の求人情報をホームページ上で情報発信。 参加企業：92社（アクセス数：6,130件 ※2月末現在）	
＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞		
①府施策連携	商工労働部雇用推進室 労働環境課 労働環境推進グループと連携し、毎年、求職者の労働等に関する相談窓口を説明会当日に設置。求職者の就職に対する悩み相談に対応。	
②広域連携		
③市町村連携	市より事業への補助金を交付	
④相談相乗		

	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	150.0	総支援企業数(実績)	183.0	支援実績率	122.0%	満足率	63.4%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	(目標設定)	合同企業説明会 25社 合同企業説明会 25社 大学就職部と企業採用担当者との情報交換会 40社 就職プラザ 60社 (実績) 合同企業説明会 27社 合同企業説明会 22社 大学就職部と企業採用担当者との情報交換会 42社 就職プラザ 92社						
	代表指標	合同企業説明会面談数							
	数値目標	200	実績数値	150	目標達成度	75.0%			
	成果の代表事例	東大阪合同企業説明会2023に参加したN社が学生と面談を行い、中途採用者1名採用、大学3回生3名については、後日会社見学に来ることとなった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	200	目標値(実績)	48	目標達成度	24.0%			
	来場者数								
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	○合同企業説明会 出展企業のニーズは高いものの、来場者(求職者)が非常に少ない結果となった。6月の来場者数減を受け、2月の開催については開催周知の手法をSNS広告等を取り入れ、アクセス数は41,149件を数えたものの、残念ながら来場者増加には繋がらなかった。次年度は出展企業の魅力を来場者に伝える方策を考えたい。 ○大学就職部と企業採用担当者との情報交換会 参加企業も定員を超える申込有。満足度も97.6%と高評価を得た。コロナ禍でマスク越しでの面談となったため、「声が聞き取りづらい」との意見があり、次年度改善に努めより良い運営方法で満足度向上を目指したい。 ○就職プラザ 昨年度よりもアクセス数の増加に成功。次年度については上記合同企業説明会の部分で触れた通り、出展企業の魅力を伝えるべく、HPのリニューアルを行い、東大阪市域企業の魅力を高めていきたい。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	25.0	支援企業数(実績)	27.0	支援実績率	108.0%	満足率	44.4%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	支援企業数については目標値を超えた。一方で満足度が低く、これは参加者(学生等)が少なかったことが大きな要因であることから次年度は来場者増に向けた広報、実施時期を見直す。								
		指標	合同企業説明会面談数							
	数値目標	100	実績数値	90	目標達成度	90.0%				
その他目標値の実績	目標値(計画)	100	目標値(実績)	28	目標達成度	28.0%				
	求職者100名									
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	25.0	支援企業数(実績)	22.0	支援実績率	88.0%	満足率	50.0%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	支援企業数については目標値を超えた。一方で満足度が低く、これは参加者(学生等)が少なかったことが大きな要因であることから次年度は来場者増に向けた広報、実施時期を見直す。								
		指標	合同企業説明会面談数							
	数値目標	100	実績数値	60	目標達成度	60.0%				
その他目標値の実績	目標値(計画)	100	目標値(実績)	20	目標達成度	20.0%				
	求職者100名									
実績／達成度③	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40.0	支援企業数(実績)	42.0	支援実績率	105.0%	満足率	97.6%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	参加企業数は目標を超え、満足度も高かったことから目標は達成できたと考える。								
		指標	参加者満足度							
	数値目標	70%	実績数値	88.6%	目標達成度	126.6%				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実績／達成度④	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	60.0	支援企業数(実績)	92.0	支援実績率	153.3%	満足率	53.3%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	登録企業数は目標を大きく超えたものの満足度は5割強と低かったことから次年度は満足度を高めるべく掲載内容などを見直しも含めてリニューアルする。								
		指標	参加者満足度							
	数値目標	70%	実績数値	55.20%	目標達成度	78.9%				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					

東大阪商工会議所

事業名		BCP・BCMの普及促進事業							
想定する実施期間		2012 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大地震や台風等の自然災害やインターネット普及によるサイバー攻撃など、企業経営に対する脅威は多種多様となっており、今以上に事前の備えや対策が求められている。いかなる有事の際にも事業を継続し得る体制（BCP）作りが求められている。しかし、市内企業におけるBCPの策定やBCMに取り組む企業は、未だ多いとはいえないことから、その必要性を周知すると共に、施策普及などによりBCP策定を後押しする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内事業所 22, 089社 ※平成28年経済センサス活動調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>BCP（事業継続計画）策定セミナー の実施</p> <p>日 時 2022年 11月29日（火） 15時00分～17時00分</p> <p>場 所 東大阪商工会議所 本所本館4階 大会議室1</p> <p>講 師 ミネルヴァベリタス株式会社 担当者</p> <p>内 容 第1部 BCP（事業継続計画）とは？ 第2部 BCP（事業継続計画）策定方法の解説 （大阪府「超簡易版BCP『これだけは！』シート（主に自然災害対策版）」を用いて、シートに記入しながら学んでいただきます。） 説明者 東京海上日動火災保険株式会社 担当者 第3部 BCP策定支援メニューの紹介 大阪府 商工労働部より 第4部 個別相談会（事前予約希望者のみ）</p> <p>参加者 14社 14名</p>							
		<p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <p>①府施策連携 (a)府施策連携商-10 大阪府中小企業支援室経営支援課経営革新グループと連携し、専門家策定によるセミナーを開催することでBCPの普及啓発を行った。</p>							
		②広域連携							
	③市町村連携	東大阪市と協定を行い、専門家によるセミナー個別相談等を行うこととなっている。							
	④相談相乗								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	22.0	総支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	72.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>上記セミナーを実施したところ、参加企業の満足度については、参加者全員が「満足」または「やや満足」と回答していただき好評であった。要因としては、発生が予想される南海トラフ巨大地震等の災害リスクを交えた説明と2025年の大阪万博開催時に予想される物流規制などの説明があったためと思われる。また、今後のBCPの策定については「すぐにでも取り組みたい」が35.7%、「検討した上で取り組みたい」が64.3%となっており、多くの事業所にBCP策定について理解してもらえたように思われる。</p>							
		代表指標	簡易版BCP「これだけは！」シート等のBCP作成企業数						
		数値目標	20	実績数値	14	目標達成度	70.0%		
	成果の代表事例	参加者アンケートによるとBCPの概要や策定方法、支援策の情報を得たことでBCP策定を「すぐにでも取り組みたい」と回答した企業が35%程あった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)				目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加企業数について、14社と当初計画していた20社に届かなかったが、参加者アンケートからも分かるようにセミナーの満足度も高く、今後のBCP策定についても多くの企業に理解をいただいた。次年度の取組みとしては、管内事業所のBCPの策定比率を高めるため、ハンズオン支援など取り組みの強化を図っていきたい。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	70.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	全ての参加者から「大変満足」また「満足」と回答を頂き好評であった。							
		指標	簡易版BCP「これだけは！」シート等のBCP策定企業数						
		数値目標	20	実績数値	14	目標達成度	70.0%		
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	2.0	支援企業数(実績)	2.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナー参加者等でもっと詳しいBCPを策定希望される事業所のBCP策定支援							
		指標	BCP作成企業数						
		数値目標	2	実績数値	2	目標達成度	100.0%		
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			

東大阪商工会議所

事業名		ものづくり支援拠点（MOBIO）連携推進事業								
想定する実施期間		2008 年度～ 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	多様な製造業が高度に集積する本市の強みを活かし、様々なモノづくりに関する支援資源を有するMOBIOと連携することで全国からのものづくり相談を管内と府下事業所へマッチングすることで府下事業所の販路拡大を図り、地域産業の活性化に繋げる。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内製造業者42,680社 ※平成28年経済センサス基礎調査結果より								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	中小製造業の街・ものづくり拠点地域としての強みを活かし、全国からの取引相談をMOBIO内(クリエイション・コア東大阪北館)に集約。経営指導員が随時、対応することで、府下事業所へ取引マッチングと販路開拓支援、資金繰り支援を行った。結果1,034件の取引コーディネートや販路支援、資金繰り改善等を行った。								
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	中小企業支援室 ものづくり支援課 モビオ事業推進グループと連携し、府内各地域のものづくり企業が府のモノづくり支援拠点(MOBIO)を活用することによって、新製品・技術の開発や経営力の強化などを図り、MOBIOの様々な機能や府関連施策などの支援資源を、本所を介して、地域のものづくり企業の利用に繋げた。							
②広域連携										
③市町村連携										
④相談相乗										
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	270.0	総支援企業数(実績)	1,034.0	支援実績率	383.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	受・発注の紹介支援については、管内、管外から寄せられた様々なモノづくりに関する相談に対応した。また、今年度は新型コロナウイルスが徐々に収まった影響から、融資の数よりも販路開拓を主に取り組みする事業所が目立った。相談者から寄せられた問題について細かなヒアリングを行い、本所で実施している事業の利用や、他機関の媒体を利用した販路開拓など適切な方法を紹介し、課題解決に向けた支援を行った。								
		代表指標	引合い斡旋件数							
		数値目標	500	実績数値	1034	目標達成度	206.8%			
	成果の代表事例	市内合成樹脂業を営んでいる事業者がコロナによる影響はピークを過ぎ新しい事業展開も検討する上で、何か使える補助金はないかとの相談を受け、新しい事業展開が明確になっているのであれば事業再構築補助金、既存の事業で販路を開拓するのであれば小規模事業者持続化補助金の活用を検討してはどうかと指導し申請支援を行っていったり、市内の船舶用部品製造者から、アルミサッシ製の船舶用窓の研磨に対応できる業者を紹介して欲しいとの相談から、同じく市内の事業者を紹介するなど、あらゆる方法で問題解決に繋げた。								
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)				目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	コロナ禍で出入りできない時期があったが、支援対象企業数は目標値を超えた。次年度以降も各関係機関と連携を図り、取引活性化につなげたい。また、販路開拓支援や融資相談なども柔軟に対応し、企業のニーズに合った効果的な支援を行う。								

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

東大阪商工会議所

事業名		経営革新の支援事業								
想定する実施期間		2008 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	経営革新に取り組んでいる、これから申請しようと考えているが何から始めたらよいのかわからない前向きな中小企業を掘り起こし、中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認取得を支援する。また、承認企業の事業計画作成、計画実施をサポートすることにより、地域産業の牽引役となる成功企業を輩出する。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内製造業者 5,954社 *平成28年経済センサス活動調査結果より								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	日 時：2022年8月5日（金）午後6時30分～8時30分 場 所：東大阪商工会議所 本所本館 4階 大会議室1 テーマ：「激動の時代に勝つ 組織力強化の経営戦略とは」～会社には大きな利益が眠っている～ 講 師：(株)ユーマスブレン 担当者 参加者：11社15人 日 時：2023年2月10日（金）午後6時30分～8時30分 場 所：東大阪商工会議所 本所本館 4階 大会議室1 テーマ：「会社の存続・成長・発展のための戦略的な中期経営計画の推進手法」～会社には、大きな利益が眠っている～ 講 師：(株)ユーマスブレン 担当者 参加者：14社18人 内 容： ●8月5日 ●2月10日 ・好ましい企業文化（組織風土）とは ・社長と幹部社員の経営力が会社の将来を決める ・組織力強化の実践法 ・戦略的な中期経営計画の作り方 ・組織への浸透・定着法 ・戦略的な中期経営計画の推進の事例 ※いずれもセミナー終了後、大阪府商工労働部経営支援課 経営革新グループ担当者より経営革 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	府施策連携商13番:大阪府経営支援課経営革新グループと連携し、セミナー内容及び経営革新計画の取得を支援する為の概要から取得に係る手順、取得後の支援施策等について協力を得ながら、承認企業発掘促進を図った。							
		②広域連携								
		③市町村連携								
④相談相乗										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	27.5	支援実績率	91.7%	満足率	88.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	2回にわたり経営革新セミナーを開催し、経営者から役員のみならず従業員の方まで受講され、受講者のアンケート満足度は非常に高かった。「今後の経営の指針としていきたい。」「数年後の目標を立てるために役立つ」といった前向きな回答が得られた。激しい経営環境で勝ち残るためには内部からの改革が必要であり、経営者・幹部の考え方や戦略的な中期経営計画の策定が求められるため、参加者からは経営革新に前向きな意見が多くあり、14社から推進したい意向を示され、経営革新計画承認に対する意識を高めることが出来た。								
		代表指標	経営革新計画承認に向けた取組割合							
		数値目標	10%	実績数値	60.8%	目標達成度	608.0%			
	成果の代表事例	参加者アンケートから「経営の原点に戻ってもう一度考えたい」「経営会議に使いたい」「今後の営業方針等に役立てたい」「社員との会話量を増やして目標や理念を立てたい」など経営革新に前向きな回答が寄せられた。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	支援企業数は目標に少し足りなかったが、参加アンケートに感想で経営革新についてのコメントが上記のようにたくさんあり、経営者や幹部の意識改革ができたものと分析する。全体の満足度、習熟度ともに高い結果となった。次年度もこの意識啓発に努め企業が発展するきっかけとなるとともに、1社でも多くの経営革新計画承認企業が輩出されるよう、参加企業のフォローアップを図りたいと考える。								

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

商工会・商工会議所（選択してください）

事業名		人材ニーズ対応支援事業							
想定する実施期間		2020 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルスの感染拡大の終息が見えない中、管内事業所においては売上の減少など大きな打撃を受けている。一方で生産年齢人口の減少に伴う人材不足が恒常化しつつある。また、働き方改革による業務の効率化、新型コロナウイルス感染拡大による業務形態の変更などを喫緊に進める必要性に迫られている。しかしながら、管内事業所においてはそのような活動を進める上での人材を確保しておらず進められないのが現状である。そこで（公財）大阪産業局と連携し、管内事業所が抱える課題の抽出しその解決策の提示、各種支援機関へマッチングするなどにより管内事業者等労働環境の改善を図り、各事業所の発展に更に寄与していく。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下製造事業者 42,680 社を対象とする。 *平成 28 年経済センサス活動調査より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>①中小企業の人材確保セミナーの実施 開催日時：2022年8月26日（金） 開催場所：東大阪商工会議所 内容：(1)本当に必要とする人材とは、現状の雇用状況について 「共感採用とは一求める人財を採用するためにできること」 （公財）大阪産業局 採用戦略アドバイザー 担当者 (2)人材確保に繋がる「人材採用コンシェルジュ事業」の活用方法・事例紹介 （公財）大阪産業局 HR戦略部プランナー 担当者 参加者数 19社（19名）</p> <p>②人材確保に関するハンズオン支援 実施時期：2022年9月以降随時 実施方法：個別会社訪問による 内容(予定)：・人材不足等に関する個別相談の掘起し ・主に「中小企業のための人材採用コンシェルジュ」を活用したマッチング など 個社支援の実施 4社 Y社：世代交代のため人材確保強化を希望 K社：業績好調により新たな人材確保を希望 H社：世代交代に伴う製造現場の人材を希望 C社：新事業分野展開に伴い兼業・副業を含めた人材確保を希望 上記4社の相談に対して、（公財）大阪産業局の採用戦略アドバイザーと本所経営指導員が帯同訪問し課題解決を図る。</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>							
	①府施策連携	府施策連携商 1 番 管内事業者の事業継続のための中核人材や今後中核を担う人材など各事業者が求める人材確保に向けた支援を通じ、（公財）大阪産業局と連携し、管内事業者等の人材確保支援を行う。また、セミナーの講師選定など事業企画の段階から（公財）大阪産業局と連携し実施した。							
	②広域連携								
③市町村連携									
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	23.0	支援実績率	92.0%	満足率	95.7%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	中小企業のための人材確保支援セミナーにおいては、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、参加者は19社19名と低調ではあったが、昨年に比べ参加者数は増加した。参加者アンケートによる満足度については9割を超えており、一定の成果はあったと思われる。また、個社支援については4社に対して実施したところ、新たな人材雇用とは別の手法として副業・兼業の活用による人材確保支援ができた。また、企業の人材確保に関する課題だけでなく、デザイナーとのコラボなどについて企業の抱える課題も発掘すると共に支援（デザイン学校講師を紹介支援）したことで、支援企業から感謝の声もあるなど成果は大いにあったと思われる。							
	代表指標	（公財）大阪産業局との連携により人材を確保をはじめとした人材戦略に取り組む企業数							
	数値目標	5	実績数値	4	目標達成度	80.0%			
	成果の代表事例	個社支援企業4社の内、現在も（公財）大阪産業局の採用戦略アドバイザーと本所経営指導員が継続して支援しており、内1社が副業・兼業にて1名契約を交わし採用された。また、他社においては 2023 年度には採用が決まる可能性がある。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	今回、セミナーの参加申込み企業数が計画時の参加数を達成した。但し、新型コロナウイルス感染症の再拡大の中での開催もあり開催日当日、参加申込した企業で1社欠席（新型コロナウイルス感染により）となった。次年度においても新型コロナウイルス感染拡大など不測の事態を考慮し、リアル開催だけでなく、オンラインでの開催も視野に入れて、その時々状況に合わせた実施方法を検討する必要がある。
------	--	---

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	95.0%	満足率	94.7%	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	今回、支援企業数は目標の9割超となった。参加者アンケートの満足度は9割を超え、潜在的なニーズは高い。更に参加者にとっては（公財）大阪産業局の支援メニューの情報を得たことで今後の人材確保に向けた活動をしやすくなった。								
		指標	（公財）大阪産業局が実施する「中小企業のための人材採用コンシェルジュ」をはじめとした人材戦略支援メニューの活用を検討する企業							
	数値目標	10	実績数値	13	目標達成度	130.0%				
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	5.0	支援企業数(実績)	4.0	支援実績率	80.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	今回、個社支援については当初の目標である5社には1社足りない結果であったが満足度の高い支援ができた。一方、年度内での新規雇用確保には至らなかったケースも多く、現在も継続して支援しており来年度には新規での雇用確保が期待できる。								
		指標	（公財）大阪産業局との連携により人材確保をはじめとした人材戦略に取り組む企業数							
	数値目標	5	実績数値	4	目標達成度	80.0%				
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					

東大阪商工会議所

事業名		技術専門学校を活用した中小企業従業員等の技術向上事業																																					
想定する実施期間		2009 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																					
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	現代企業において人材育成は重要度を増す一方、従業員に対し技術教育が行き届かず、製造現場における生産性を阻害する一因となっている。本事業はテクノ校の設備を活用し、若手従業員を早期に育てる為の基礎知識及び、機械CADの図面の描きなどの個別技術を習得することにより技術力等の向上を目指す。																																					
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内製造業者 5, 954社 ※2016年経済センサス活動調査 業種別事業所数より																																					
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>日時: 2022年8月3日(水)・4日(木) 9時30分～16時30分 2日間コース</p> <p>場所: 大阪府立東大阪高等職業技術専門学校</p> <p>テーマ: 製造現場ではたらく若手従業員の早期戦力化セミナー</p> <p>内容: 製造現場の仕事 ⇒ モノ・お金の流れ、4M(人・材料・設備・方法)とQCD(品質・コスト・納期)</p> <p>職場の安全 ⇒ 安全対策・ヒューマンエラー防止・安全活動</p> <p>品質管理 ⇒ 製造業における品質管理・SQC、TQCの概要・QCの7つの道具</p> <p>生産管理 ⇒ 7つのムダ</p> <p>参加者: 14社 18名</p> <p>日時: 2022年10月8日(土)・15日(土)・29日(土) 9時30分～16時30分 3日間コース</p> <p>場所: 大阪府立東大阪高等職業技術専門学校</p> <p>テーマ: 機械CAD入門セミナー</p> <p>内容: 【1日目】 CADの概要、作図基本機能及び補助機能(線、円、長方形、OSNAPなど)について 基本編集機能(移動、複製、オフセット、トリムなど)について、寸法・文字記入について</p> <p>【2日目】 画層機能について、投影図作成(課題:縮尺1:1)、作図機能及び補助機能について(基本操作確認、多角形、構築線、ポリラインなど)</p> <p>【3日目】 画層機能、寸法機能応用について、応用編集機能(基本操作確認、分解、回転、鏡像、配列複写など)について、機械図面作成～印刷(課題:縮尺あり)</p> <p>参加者: 11社 16名</p>																																					
		<p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">大阪府立東大阪高等職業技術専門学校から講師の派遣、施設の利用を受け、中小企業在职者の技術向上を目指した。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7"></td> </tr> </table>								①府施策連携	大阪府立東大阪高等職業技術専門学校から講師の派遣、施設の利用を受け、中小企業在职者の技術向上を目指した。							②広域連携								③市町村連携								④相談相乗					
①府施策連携	大阪府立東大阪高等職業技術専門学校から講師の派遣、施設の利用を受け、中小企業在职者の技術向上を目指した。																																						
②広域連携																																							
③市町村連携																																							
④相談相乗																																							
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	29.0	支援実績率	96.7%	満足率	96.0%																															
事業全体の実績/日	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>・「製造現場ではたらく若手従業員の早期戦力化セミナー」</p> <p>セミナー受講者のアンケート満足度は94.4%と全体的に高い。新人・または入社3年目までの従業員が製造現場で働く上での品質管理や製造現場における仕事の基礎知識を習得するとともに、作業工程の改善前と改善後のリードタイムの平均値を求め、分析する手法等を学ぶ為のワークショップが行われた。参加者からは本セミナーを受講して「講義の内容は実践的で仕事に役立てられると思った、知識だけでなく、管理や品質といった分野も学ぶことができ非常にためになった。」等の好評価が寄せられた。</p> <p>・「機械CAD入門セミナー」</p> <p>セミナー受講者のアンケート満足度は全員が満足・やや満足との高い評価を得た。初心者を対象とした機械図面に関する基礎知識と、図面の描き方や作図法の基礎技能を習得するとともに、最終日は機械図面の作成実習まで行った。参加者からは習得した技術を活用することで「自己流で学ぶより何倍もわかりやすかった、学んだことが実践での作図でも対応できる」等、成果を実感した意見がみられた。</p>																																					

目標達成度	代表指標	受講したセミナーやワークショップで得た基礎知識が製造現場で活用できると感じた事業所数				
	数値目標	10社	実績数値	26社	目標達成度	260%
	成果の代表事例	<p>・製造現場ではたらく若手従業員の早期戦力化セミナー：「製造現場での知識を増やすことができ今後、職場で活かすことができる」と言った、直接業務につながる前向きな意見が受講者より示された。</p> <p>・機械CAD入門セミナー：「今回実習したことで、実際にソフトを使って実践でき、自社での図面作成に対応できる」などのアンケート回答があり、本セミナーが自社において実際に業務効率化につながることを期待される。</p>				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>今回、「製造現場ではたらく若手従業員の早期戦力化セミナー」は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の中での開催もあり開催日当日、参加申込した企業で2名の欠席(新型コロナウイルス感染により)があった。「機械CAD入門セミナー」についても参加申込した企業で3名の欠席(新型コロナウイルス感染等により)があった。次年度においても両セミナーともに満足度が高いことから本事業を促進するようセミナーの内容をより充実改善する。</p>				

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績/達成度をご記入ください。

実績/達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	106.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	<p>コロナ禍であったが、目標を上回る結果となり、また、受講者からは、自社で学んだことを活用できるという声もあり満足頂いたと思う。</p>							
		指標	製造現場での基礎知識を活用できると感じた事業所数						
		数値目標	5	実績数値	14	目標達成度	280.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績/達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	13.0	支援実績率	86.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	<p>当日キャンセルが3件あり、定員には達しなかったが、受講者からは、CADについて理解を深めることができた、自社で携わっている仕事に活かせるという声もあった。</p>							
		指標	習得した技術を現場で活用できると感じた事業所数						
		数値目標	5	実績数値	12	目標達成度	240.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

東大阪商工会議所

事業名		キャッシュレス化の推進事業						
想定する実施期間		2020 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	2025年大阪・関西万博に向けて、国ではキャッシュレス社会を目指すべく2019年6月に成長戦略フォローアップを閣議決定し、キャッシュレス決済比率40%を目指している。また、会計時に接触機会を減らすことができるので新型コロナウイルス感染症予防としても注目されている。そのような中、本市域商業者においてもインバウンド需要を取り込むべく、キャッシュレス決済システムを導入することが必要であるが、未だ同決済システムを導入していない商業者、特に小規模事業者が多く見受けられる。そこで、同決済システムを導入することのメリットなどについて解説するセミナーを実施し、本市域商業者のキャッシュレス決済システムの導入比率を高め、市域商業者の発展に繋げる。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪府内全産業 392,940社 平成28年経済センサス活動調査より						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	キャッシュレス決済アプリ導入セミナー 日時：2023年2月28日(火) 場所：東大阪商工会議所 本所本館 4階 大会議室1 内容： with コロナ時代におけるキャッシュレス決済最前線～キャッシュレス決済のいま～ ①消費者目線でのキャッシュレス決済動向 ②事業者目線でのキャッシュレス決済動向 ③これからキャッシュレス決済環境はどうなっていくのか？ 講師 永田システムデザイン事務所 代表 ④キャッシュレス決済事業者による概要説明 PayPay(株)担当者、楽天ペイメント(株)担当者 参加者：14社 14名 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 募集方法については、本市域商店街へ巡回し協力を仰ぎ広報を行い集客を図った。 ②広域連携 ③市町村連携 ④相談相乗						
	事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値) 総支援企業数(計画) 28.0 / 総支援企業数(実績) 16.0 / 支援実績率 57.1% / 満足率 100.0%	今年で4回目となるキャッシュレス決済導入・普及に関するセミナーを実施した。セミナー参加企業数は14社であったが、セミナーへの満足度は全ての方が満足したと回答した。しかし、キャッシュレス化に取り組む企業の割合は 64.2% とこれは、管内中小企業・小規模事業者がインバウンド需要・万博の開催に伴う取り込みやコロナ過での商機について検討していることがうかがえる。セミナー後には、 2社 が新規でキャッシュレス決済の導入を進め、決済事業者と支援を続けている。 代表指標 キャッシュレス決済システム導入の必要性を理解した企業割合 数値目標 60% / 実績数値 64.2% / 目標達成度 107.0%					
成果の代表事例	A事業所 理容室を営み、消費者のキャッシュレス化が進んでいるの理解していたが、仕事が忙しく導入まで至らなかった。今回、商工会議所で受講したセミナーで早期にキャッシュレス化を進めないと顧客を取りこぼしている可能性があると感じた。顧客の利便性を優先し、新規顧客の獲得と既存顧客を逃がさないようPayPayの導入をした。その他、個者支援は1事業所を行った。							
その他目標値の実績	目標値(計画) / 実績数値 / 目標達成度							
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか) 参加企業数は目標値に届かなかったが、セミナー参加企業の満足度、習熟度は高く理解されていた。次回開催は、商店街等のイベントが増えそうな秋・年末に向けて、実施するよう検討する。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績/達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	25.0	支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	56.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	本セミナーの参加企業に「キャッシュレス化の推進」について問うたところ、14社中10社が「推進する」との回答があった。また、「未定」としていた2社がキャッシュレス決済の導入を							
		指標	キャッシュレス決済システム導入の必要性を理解した企業割合						
	数値目標	60	実績数値	64	目標達成度	107.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	3.0	支援企業数(実績)	2.0	支援実績率	66.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	キャッシュレスセミナーを受講した2社が、PayPayの導入を行った。							
		指標							
	数値目標		実績数値		目標達成度				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

商工会・商工会議所（選択してください）

事業名		テレワークの導入・定着支援事業							
想定する実施期間		2021 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、管内中小企業・小規模事業者においても、感染防止の観点から時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方が求められている。その働き方の有効な手段の1つとして電車通勤などを伴わずに自宅等で行えるテレワークがあるが、管内中小企業・小規模事業者においてテレワークの導入や定着は進んでいない現状である。このような状況から管内中小企業・小規模事業者においてもテレワークを導入する必要がある。 管内中小企業とりわけ小規模事業者においては如何にしてテレワークを導入したら良いのか、導入することのメリットなどについて知らない事業者も多い。そこで、テレワーク導入に関するセミナーを開催することで管内中小企業・小規模事業者のテレワーク導入を促進する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下製造事業者 42,680 社を対象とする。 *平成 28 年経済センサス活動調査より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	・テレワーク導入セミナーの開催 開催日時 2022年10月5日 (水) 開催場所 東大阪商工会議所 本所 開催内容 大阪働き方改革推進支援・賃金相談センター 専門家 社会保険労務士・中小企業診断士 担当者 ・テレワークの現状（導入状況、取組事例の紹介） ・テレワーク導入時押さえておくべきポイントの紹介 ・テレワーク導入時、注意すべき労務管理とは（就業規則、人事評価等） ・（セミナー終了後）個別相談会 参加者 16社：17名							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	府施策連携労-13番 大阪府テレワークサポートデスク（大阪府雇用推進室労働環境課相談グループ）と、具体的な内容から講師の選定等まで企画段階から連携して行う。テレワークを行うにあたって押さえておくべきポイントや、就業規則等のルール作りなどに特化した内容で実施。それにより、管内小規模事業者等のテレワーク導入を効果的に促進する。						
	②広域連携								
	③市町村連携								
	④相談相乗								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20	総支援企業数(実績)	16.5	支援実績率	82.5%	満足率	93.8%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	セミナー申込 16社17名 と低調で、実参加者 16社17名 の結果であった。参加者アンケート結果による満足度については満足度が9割を超えており、一定の成果はあったと思われる。また、アンケート集計によるとテレワーク導入する及び検討すると回答した企業数は半数の 8社 あった。一方、未定及び導入は難しいとの回答企業が 6社 あり製造業をメインに現場作業等の企業には、導入に大きな課題があると思われる。一方、導入は難しいと回答された企業の中には、事務部門のみ導入を検討すると前向きな回答を得た。							
		代表指標	テレワーク導入を検討する企業数						
		数値目標	10社	実績数値	8社	目標達成度	80.0%		
	成果の代表事例	参加企業の大半が製造であったが、昨年の同事業で行ったアンケートでは、導入する及び検討する企業が 6社 に対し、今回導入を検討するといった前向きな回答は 8社 あり、徐々にテレワーク導入への重要性が周知できたのは、本セミナーを開催した成果である。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今回、セミナー参加企業が定員に達しなかったが一定数の参加があった。新型コロナウイルス感染症の収束傾向に伴いテレワークに対する意識が希薄となっていることが伺える。また、参加企業の内、テレワーク導入について難しいとの回答が 35% あった。今後、導入に苦慮している事業所に対し、導入を検討促進するようセミナーの内容を改善する。							

東大阪商工会議所

事業名		新事業展開チャレンジ支援事業						
想定する実施期間		2022 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、当面の需要や売上の回復が期待し難い中、ポストコロナ時代の経済社会の変化に対応するため、新事業展開を計画する小規模事業者はあるが、資金力・人的資源に乏しいため、意欲があっても独力で、新たな取り組みを通じた事業の再構築などを計画し実行する事は困難である。そこで、新事業展開を打ち出す事業計画書策定や資金調達、マーケティングなど必要となる知識や要素の理解を深めるセミナーや、新事業展開を果たした成功事例を紹介するセミナーをする事で、着実に新事業展開を実施し、倒産を防止するとともに成長の機会を確保する。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下全業種の事業所を対象 事業所数 392, 940 社 ※平成28年経済センサス活動調査結果より						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>日程：2022年5月12日(木) 14時～16時 場所：東大阪商工会議所 本所本館 4階 大会議室1 テーマ：事業再構築を目指す企業のための事業計画書作成支援セミナー 内容：1部 新事業を成功に導く事業計画作成のポイント ・講師 e&i経営研究所 代表 2部 新事業展開チャレンジ支援事業の説明 ・講師 大阪府 商工労働部 中小企業支援室 経営支援課 担当者</p> <p>参加者：27社28名</p> <p>日程：2022年10月20日(木) 14時～16時 場所：東大阪商工会議所 本所本館 4階 大会議室1 テーマ：事業再構築を目指す企業のための事業計画書作成支援セミナー 内容：1部 新事業を成功に導く事業計画作成のポイント ・講師 e&i経営研究所 代表 2部 事業再構築成功事例紹介 ・講師 (株)食工房のだ屋 代表取締役 3部 「新事業支援-Vチャレンジ-」の説明 ・講師 大阪府 商工労働部 中小企業支援室 経営支援課 担当者</p> <p>参加者：12社12名</p>						
	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携	府施策連携：商工関係NO11 新事業展開チャレンジ支援 事業実施において経営支援課と連携し新事業展開を計画する小規模事業者の事業計画作成支援や成功事例のセミナーを開催し新事業展開の後押しをする						
②広域連携								
③市町村連携								
④相談相乗								
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50.0	総支援企業数(実績)	39.5	支援実績率	79.0%	満足率	92.3%
事業全体の実績／目標	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	事業計画書作成支援セミナーを開催し、事業所が事業計画書の作成の仕方について理解度を高め、新事業を展開するための準備を進める。事業計画書の作成にあたり、苦手意識を持たれている方が少しいた。しかし今回の「新事業支援-Vチャレンジ-」という大阪府の施策の存在を知り、事業計画書を作成する上で手を付けようとするハードルが下げられ、計画書作成してみようとする前向きな回答が得られた。またコロナ禍でもあることから、経営の悪化が進み、新事業を展開することに興味を抱いている参加者が多かった。事業所の中には、「新事業支援-Vチャレンジ-」に参加したいと9名の方が意向を示しており、事業計画書作成に対する意識を高めることが出来た。						
	代表指標	事業再構築するための事業計画を作成するために必要な知識を理解できたと感じた事業所数						
	数値目標	40	実績数値	38	目標達成度	95.0%		

達成度	成果の代表事例	参加者アンケートから事業再構築のための事業計画書作成について理解を深められましたかという質問に「理解できた」「少し理解できた」が9割を超えていた。参加した事業所は補助金に関心が高い事業所であり、「資金力のない個人事業者向けの事業計画立案について」や「市場分析や小項目について」などに関するセミナーの希望があった。					
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	1回目のセミナーは順調に参加者数を確保できていたが、2回目のセミナーではなかなか思うように伸びなかった。次期は、2回目のセミナーの時期を11月にずらすことにより参加者数の確保を目指し、事業所の計画書作成に対する意識を高めたい。					

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	25.0	支援企業数(実績)	27.5	支援実績率	110.0%	満足率	89.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	コロナ禍であったが、目標を上回る結果となり、また、受講者からは、自社で学んだことを活用できるという声もあり満足頂いたと思う。							
		指標	事業再構築するための事業計画を作成するために必要な知識を理解できたと感じた事業所数						
		数値目標	20	実績数値	27	目標達成度	132.5%		
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	25.0	支援企業数(実績)	12.0	支援実績率	48.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	5月のセミナーに比べなかなか参加者が集まらなかった。しかし目標には達しなかったが満足度的には12社中12社満足という数値が出ており、事業計画書作成の流れについてイメージしやすく、手の付けやすいものだと感じさせることが出来た。							
		指標	事業再構築するための事業計画を作成するために必要な知識を理解できたと感じた事業所数						
		数値目標	20	実績数値	12	目標達成度	60.0%		
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

東大阪商工会議所

事業名		新エネルギー産業分野への参入促進事業							
想定する実施期間		2022 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	政府が2050年カーボンニュートラルを宣言し、環境と経済の好循環を前提とした成長戦略も策定された。その実現に向けた取り組みが求められている中、自動車産業をはじめ、家庭・オフィス関連産業に至るまで成長分野としての裾野が広がることが期待される。その中において蓄電池や水素、燃料電池の活用は大きなキーワードといえる。それらを活用した新たな転換を模索する市域中小企業を支援するべく、セミナーなどを実施し新エネルギー分野への参入を推進する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内製造業者 42,680社 ※平成28年度経済センサス基礎調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>1. 「中小企業のための脱炭素経営のススメ」セミナー 日時：2022年9月6日（火）14時～16時 場所：東大阪商工会議所 本所本館 4階 大会議室 内容：【セミナー】</p> <p>(1) 脱炭素経営へのスタートアップを</p> <p>①脱炭素に向けた政策の動向 ②「CO₂排出量の見える化」への取り組み (2) 新エネルギーが脱炭素ビジネスへのキーワード</p> <p>③事例紹介 ④大阪府新エネルギー産業振興に向けた取り組みについて (支援体制、補助金制度、スマエネインダストリーネットワーク他)</p> <p>参加者：48社 51名</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <p>①府施策連携 講師の選定をはじめセミナー内容についても事業企画の段階から大阪府成長産業振興室産業創造課新エネルギー産業グループと連携し実施した。</p> <p>②広域連携</p> <p>③市町村連携</p> <p>④相談事業相乗</p>							
	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	50.0	総支援企業数(実績)	49.5	支援実績率	99.0%	満足率	95.8%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>東大阪市でも2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを表明し、市内企業でも具体的な取り組みが求められる中、そこで各々の施策や事例紹介をはじめスマエネインダストリーネットワークへの参加機会を促した。総支援企業数は目標の99%を達成、アンケートによるセミナー参加者の満足度は95.8%であった。また、新エネルギー分野への取り組みに関心がある割合は84%にのぼり、参加者の業種が多岐にわたる中、高い数値をあげられた。これは管内中小企業・小規模事業者等が自社のCO₂排出量の把握が大事になるとともに、この脱炭素を新たなビジネスチャンスの好機として新エネルギー関連事業などへ自社技術の活用や新規参入をめざす動きが見て取れる。またスマエネインダストリーネットワークへは2社加入された。しかし新エネルギー分野へ取り組みたいとする企業は4%に過ぎず、実行に際して人的・設備的課題やノウハウなど課題が多くあると思われる。</p> <p>代表指標 セミナー参加企業による当事業への理解及び満足割合</p> <p>数値目標 70% 実績数値 50.9% 目標達成度 72.7%</p>							
	成果の代表事例	<p>スマートエネルギーインダストリーネットワークへの入会 T製作所：半導体製造装置はじめとする高圧ポンプ開発製作を手掛け、環境関連機器開発分野における新エネルギーや脱炭素の最新動向収集が目的 Y事業所：機械部品の検査装置製造を手掛け、自動車部品メーカーなどの業界で幅広く使用され、新エネルギーにー対する業界の最新動向収集が目的</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加企業数は達成し、セミナー参加企業の満足度、取り組みへの関心度合いは高い評価結果を得ており、多くの事業所に新エネルギー産業分野や脱炭素への理解を深めていただいた。次年度も継続して事業への理解度を進めていく。							

東大阪商工会議所

事業名		技能検定の活用促進事業								
想定する実施期間		2015 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	労働人口が減少していく中、中小企業では今いる従業員を育成し強い組織を作り上げることが喫緊の課題となっている。本事業において製造事業者の技術系人材の育成や技能継承を円滑化すべく、公的制度（技能検定及びものづくりマイスター制度）の活用促進を図る。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下製造業者 42, 680 社を対象とする。 *平成28年経済センサス基礎調査結果より								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	日 時: 2023年3月2日(水) 15時～17時 テーマ: ものづくりはひとつづくりから 内 容: 第1部 技術習得に役立つものづくりマイスター制度・技能検定制度の活用事例紹介 講師 大阪府職業能力開発協会 技能振興課 担当者 第2部 三星流成果につなげる人材育成術 講師 (株)三星 担当者 第3部 交流会(講師、参加者による名刺交換を行った) 参加者: 21社 25名								
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	講師の選定から事業企画において大阪府と連携する。また、実施にあたっては広報協力、更には講師として大阪府の施策について解説して頂いた。							
		②広域連携	府施策連携労15番。技能検定の活用促進事業を通じ、府内製造事業者の技術者育成支援を行う。また、実施に際しては各支援機関との連携を図る。							
③市町村連携										
④相談相乗										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	22.5	支援実績率	90.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	「ものづくりはひとつづくりから」 セミナー受講者のアンケート満足度は参加者全員が満足、やや満足と非常に高い。中小企業は、人材不足が社会問題となる中、限られた人材を適材適所に配置し、いかに育て上げるかが喫緊の課題である。第1部では大阪府職業能力開発協会の担当者から技術習得に役立つものづくりマイスター精度・技能検定制度について説明があった。参加者からは「技術者の教育という点で取り入れを検討したい」など、前向きな意見が多くあり、施策に対する意識を高めることができた。第2部では(株)三星の担当者より、自社の社内教育にもものづくりマイスター制度を活用し、社員に技能検定を受験させ合格者には手当を支給することで、社内のモチベーションアップに繋げ技能系人材育成に成果を挙げている事例発表があった。								
		代表指標	技能検定の活用への取組みを検討する企業割合							
		数値目標	100%	実績数値	90.0%	目標達成度	90.0%			
	成果の代表事例	「技能検定を受験させようと思った」「技能検定の受験に向けて取組みを検討したい」とのアンケート回答が大半であった。本セミナーで動画を使用した事例発表が好評で参考になり企業の体質強化を図りたいと、前向きな意向を示す事業所も見られた。								
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)				目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	コロナ感染が収まり、出席を見合わせる企業が少なくなり、例年より参加企業が多く、25名が参加された。「技能検定を活用したい・活用を検討する」企業が多く、また、全体の満足度は全ての方から、満足、やや満足と回答いただき、非常に高い傾向にあった。次期は更に周知PRの仕方を工夫し、大阪府、大阪府職業能力研究所のアドバイスを頂きながら事業を実施したい。								

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

東大阪商工会議所

事業名		事業承継支援ネットワーク事業						
想定する実施期間		2018 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	2018年度より実施してきた同事業では、セミナーによる集団支援や事業承継コーディネーターによる個人支援で管内事業者の事業承継を支援してきた。その中には様々な課題を抱えるケースがあり、次年度以降も事業承継問題の多様性と共にそのニーズも予想される。加えて今後は、当方から積極的な事業承継の課題を掘り起しや、場面に応じたきめ細やかな支援を実施していく。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下製造業者 42,680 社を対象とする *平成28年経済センサス活動調査結果より						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①事業承継セミナーの開催 (東大阪商工会議所) 開催日時: 2022年9月29日(木) 14:30~16:30 開催場所: 東大阪商工会議所 4階大会議室1 内容: 基調セミナー「中小企業の事業承継とM&A入門」、事例発表・施策紹介 参加者: 14社14名 (松原商工会議所) 開催日時: 2023年3月8日(水) 15:30~17:00 開催場所: 松原商工会議所 5階会議室 内容: 事業承継体験発表 講師 株式会社 大阪前田製菓 担当者 参加者: 12社15名						
		②事業承継連絡会議の開催 開催日時: 2022年9月29日(木) 13:30~14:30 開催場所: 東大阪商工会議所 4階中会議室 内容: (1)各団体による事業承継の取組みについて (2)その他 出席者: 8名 (株)日本政策金融公庫東大阪支店、大阪府経営支援グループ、東大阪商工会議所、事業承継コーディネーター						
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>						
①府施策連携	大阪府経営支援グループと連携し、連絡会議での情報交換やセミナーでの事例発表や施策発表をして頂いた。							
②広域連携	日本政策金融公庫東大阪支店、阿倍野支店や松原商工会議所と連携し、連絡会議での情報交換や各団体において関連セミナーの実施を行った。							
③市町村連携								
④相談相乗								
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	40	総支援企業数(実績)	26.5	支援実績率	66.3%	満足率	100.0%
事業全体の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	【東大阪商工会議所】 参加企業のセミナーへの満足度 100% と好評であった。また、 60% 以上の参加者が事業承継を意識した経営に取り組む意欲が強まったと回答し、その他事業承継への関心や知識が高まったとした。加えて、個別相談を希望する企業もあり、大阪府事業承継・引継ぎ支援センターのコーディネーターに繋いだ。 【松原商工会議所】 参加企業の満足度は約 90% と高く、実体験を踏まえた失敗談や成功談は事業承継を考えるきっかけとなった。また、講師が被承継者であり、先代から事業承継の苦悩や、今後の後継者探しや、承継方法等具体的な話は、参加された経営者の被承継者として意識向上にも繋がった。						
	代表指標	事業承継診断実施企業数						
	数値目標	40	実績数値	25	目標達成度	62.5%		
成果の代表事例	【東大阪商工会議所】 金属部品等の製造を手掛ける会社であるが、現在、後継者が現時点で決まっておらず、 M&A も視野に入れながら会社継続を考えている。今般、セミナー受講後に相談の希望があり、事業承継コーディネーターと共に実地訪問の上、ヒアリングを行った。特に M&A に関する説明や現在の借入状況を確認し、事業承継を進める支援を行った。							
	【松原商工会議所】 事業承継を検討している参加者からは、実際の体験談を聞くことで、事業承継を計画的に進めていく大切さを学んだとともに体験談を聞いていく中で、親族承継にこだわらず M&A 等様々なパターンを検討し、会社にとって最善の策を考えていくべきとの声をいただいた。							

	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)	目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)					

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	70.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	事業承継に向けた準備の啓発とノウハウの取得(東大阪商工会議所)							
		指標	事業承継診断実施企業数						
	数値目標	20	実績数値	14	目標達成度	70.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	12.5	支援実績率	62.5%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	事業承継に向けた準備の啓発とノウハウの取得(松原商工会議所)							
		指標	事業承継診断実施企業数						
	数値目標	20	実績数値	11	目標達成度	55.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度③	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)		支援企業数(実績)		支援実績率		満足率	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)								
		指標							
	数値目標		実績数値		目標達成度				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度④	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)		支援企業数(実績)		支援実績率		満足率	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)								
		指標							
	数値目標		実績数値		目標達成度				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度⑤	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)		支援企業数(実績)		支援実績率		満足率	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)								
		指標							
	数値目標		実績数値		目標達成度				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

東大阪商工会議所

事業名		売りメッセ取引商談会 in東大阪							
想定する実施期間		2008 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により売り手買い手ともに営業活動が制限され、更なる新規開拓が必要である。そこで、通信販売や店舗販売を行う大手量販店・スーパー・百貨店や卸売企業等の担当者との商談の場を提供し、新規取引先の拡大を目指すことを目的に、1社でも多くの取引に結びつくよう商談会を開催する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下製造事業者、小売業者、卸売業者 142, 224社 ※平成28年経済センサス活動調査により							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	日 時:2023年1月13日(金)15時～17時 商談会直前「プレゼンセミナー」 場 所:東大阪商工会議所 本所本館4階 大会議室 内 容 ①商談で成功する資料やツール作成のポイント ②プレゼンの秘訣 ③商談後のフォロー その他、商談会で効果的なプレゼンを行う方法・具体例の解説 講 師 木野コンサルティング事務所 代表者 参加者 20社 27名							
		日 時:2023年1月27日(金)10時～16時30分 場 所:クリエイションコア東大阪 南館3階クリエイターズプラザ バイヤー: 22社、売込企業 94社							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携	(b):北大阪・守口門真・大東・松原商工会議所等と連携することによって、バイヤー事業所や売り込み事業所の参加拡大と相乗効果が見込まれる。								
③市町村連携									
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	135	総支援企業数(実績)	116.5	支援実績率	86.3%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	支援企業数については計画には達成しなかったが、参加者は昨年より1件増加した、成約は94社中8社が商談成立。その他、現在も商談中の案件については、79件ある。 (売りメッセ東大阪取引商談会) ・買い手側企業・・・22社 ・売り手側企業・・・94社 ・商談件数・・・321件(内商談成約件数8件 ※事後アンケート集計結果) 当日終了後のアンケートでは買い手企業、売り手企業ともに100%本事業に参加して「満足」「やや満足」との回答であり、売り手企業からは「商談は成立しなかったが得るものはあった」との回答が多く、商談で不成立ながらも情報・アドバイスなどが得られた。今後の本事業でのマッチングによる販路開拓が期待される。							
		代表指標	商談件数						
	数値目標	400	実績数値	321	目標達成度	80.3%			
	成果の代表事例	商談が成立した商品は「子供が乗れるスーツケース」「お絵かき水筒フラワー」「小型防水スピーカー」などレジャー用品が多かった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	コロナ禍での開催であったため、発熱など体調不良による直前でのキャンセルがあり、参加企業数の目標値をクリアすることはできなかった。本年度も昨年に続きコロナ禍の開催であることから、申込みが多数あったバイヤーについては事前マッチングを行った。 課題としては参加者数の増加である。新規バイヤー数を増加させることにより、本年度参加者や過去参加者等へ新たなバイヤーとの商談が可能となる旨をPRし、継続参加については商談成立件数の増加を目指す。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	105	支援企業数(実績)	94	支援実績率	89.5%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	商談会では参加企業数 94 社、商談成立件数が8件となった。商談成立に至っていない事業所からは、商談は不成立ながらもバイヤー担当者から消費者の求める商品の傾向など情報・アドバイスが得られたことから今後の本事業でのマッチングによる販路開拓が期待される。							
		指標	商談件数						
	数値目標	400		実績数値		321		目標達成度	80.3%
その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度		
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	23	支援実績率	75.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	プレゼン力向上セミナーを開催したところ、 27 名中 27 名が「自身のスキルアップにつながった」「習得知識を活用したい」との回答が得られ、今後の商談に活用できるセミナーとなった。							
		指標	セミナー理解度						
	数値目標	70%		実績数値		100%		目標達成度	142.9%
その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度		
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)		支援企業数(実績)		支援実績率		満足率	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）								
		指標							
	数値目標			実績数値				目標達成度	
その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度		
実績／達成度④	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)		支援企業数(実績)		支援実績率		満足率	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）								
		指標							
	数値目標			実績数値				目標達成度	
その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度		
実績／達成度⑤	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)		支援企業数(実績)		支援実績率		満足率	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）								
		指標							
	数値目標			実績数値				目標達成度	
その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度		